

【試験液の作り方】

残留ハロゲン化銀の試験液の作り方

コダック 残留銀試験液 ST-1
貯蔵液 1000ml 用

● 材 料

- | | |
|------------------------------|-------|
| ① 水（蒸留水または精製水） ^{*1} | 100ml |
| ② 硫化ナトリウム（無水） | 2g |
| （硫化ナトリウム五水和物の場合） | 4.3g） |
| （硫化ナトリウム九水和物の場合） | 6.2g） |



^{*1} 水に含まれる不純成分の影響を避けるため、蒸留水または精製水を使用する。

- 作り方 材料を合わせて溶解する。
使用の際には貯蔵液と水（蒸留水または精製水）を 1 : 9 の割合で希釈する。
- 保 存 貯蔵液は密栓しておく約 3 か月保存できるが、
希釈後は寿命が短く 1 週間で取り換える。

残留ハイポの試験液の作り方

コダック ハイポ試験液 HT-2
ハイポ試験用酸性硝酸銀液 1000ml 用

● 材 料

- | | |
|------------------------------|-------------|
| ① 水（蒸留水または精製水） ^{*1} | 750ml |
| ② 酢酸 28% ^{*2} | 125ml |
| （氷酢酸の場合 | 35ml） |
| ③ 硝酸銀 ^{*3} | 7.5g |
| ④ 水（蒸留水または精製水） ^{*1} | 125～215ml 位 |



^{*1} 水に含まれる不純成分の影響を避けるため、蒸留水または精製水を使用する。

^{*2}、^{*3} 酢酸と硝酸銀は皮膚を刺激するので、注意して取り扱う。

もし皮膚に触れたら直ちに流水で洗い落とし、医師の診察を受けること。

- 作り方 ①～③を合わせて溶解し、更に④を加えてできあがり量を 1,000ml にする。
- 保 存 ねじぶたかガラス栓の褐色ビンに貯蔵し、強い光を避けて保存する。
適切に保存すると約 2 年間有効。
- 取り扱い上の注意 手・衣服・ネガ・プリント等に着くと黒色汚染を生ずる。